

今井だより

つよく たくしく あたたかく
笠岡市立今井小学校 学校だより

学校教育目標
『心豊かで、
自らを伸ばす
児童の育成』



『今井だより』は、学校のホームページからご覧いただけます。

第10号 令和3年12月6日

言葉の力で温かく、みんな笑顔な今井小



1948年12月10日の国際連合総会で「世界人権宣言」が採択され、その後12月10日が「世界人権の日」に定められました。日本では毎年この日に先立つ1週間が「人権週間」とされています。今井小学校でも11月29日(月)～12月3日(金)を校内人権週間「今井小なかよし週間」とし、様々な取組を行いました。互いの人権を大切にすること、身の回りの不合理を自分たちの課題として解決していこうとする実践的な態度を身につけようとするを、それぞれの学年・発達段階に応じて目指す期間としました。

具体的には、「学校生活や友だち関係に関するアンケート調査を実施し、それを踏まえて教育相談を行う」、「人権に関する授業を行う」、「『ハートいっぱいあったか言葉』を友達に対して書き、玄関付近へ掲示する(写真左下)」、「リーダー会で今井小合い言葉等を決め、さわやかタイム、さわやか班遊び(写真右下)を実施する」、「各学級でなかよし宣言を決める」等の取組を行いました。なかよし宣言は、玄関付近へ掲示(写真左下)すると共に、全校に向けて各学級の代表が紹介し合いました(上写真)。記事の見出しにしている合い言葉「言葉の力で温かく、みんな笑顔な今井小」に込めた気持ちは、なかよし週間が終わってもずっと大切に持ち続けたいと、誰もが思っています。

昨今、子供同士の人間関係トラブルが原因と考えられる痛ましい事件が、報道等を通してたびたび伝わってきます。私たち教職員はその度に心を痛めておりますが、同時に、「今井小には関係がない」と割り切る事もできません。いわゆる「いじめ」とは、被害者が心身の苦痛を感じている状態を言うもので、客観的にはわからなかったり相手に悪気が無くても心にダメージを負っていたりする事もあり得るからです。“見えないところ”で心配が進行しないようにするためにも、教職員と保護者の皆様は、常に子供たちの様子を注視し、気になることは随時情報共有しなければなりません。また、子供たちが心配事を相談しやすい関係性を日頃から築いておくことも重要です。

人権週間は、そうしたことへの意識を高めるきっかけにすべき期間でもあります。一人一人の子供たちの人権を守るために、今後ともご協力の程よろしくお願いいたします。